

ラズパイ&マイコンで組み込みからシステム構築まで
センサ・データをゲートウェイ経由でクラウドへ

IoTシステム

構築塾

最終回

第6回 Webアプリケーションの開発&動作確認

伊東 賢一

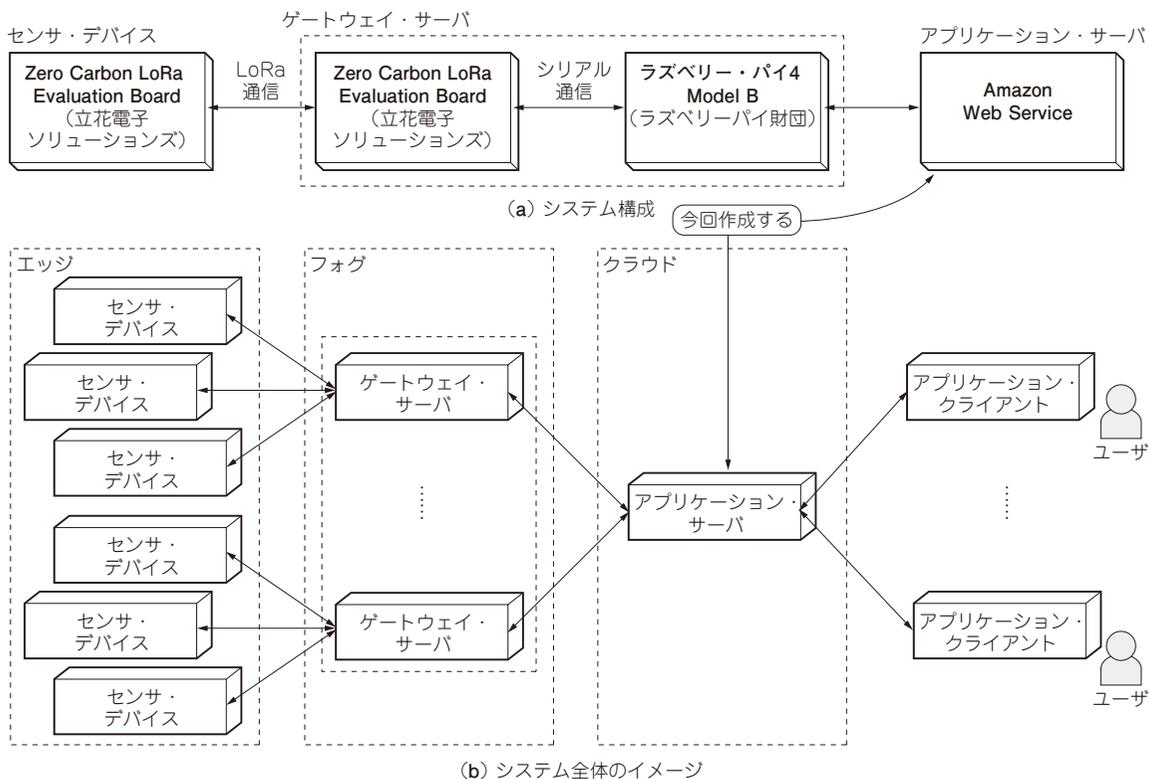


図1 本連載で構築するIoTシステムの全体像

組み込み分野からクラウドまで、広い範囲の要素技術をカバーする必要がある。本連載では、一通りの開発を体験して、全体を見通して開発する力を身につけることを目標とする

本連載では、IoT (Internet of Things) の代表的なアプリケーション事例の1つである環境モニタリング・システムを題材にして、エッジ・デバイスからサーバまで一通りの開発を体験しながら、図1に示すようなIoTシステム作りを学んでいきます。

前は、ゲートウェイ・サーバにアプリケーションを組み込みました。今回は、ブラウザで動作するWebアプリケーションを開発し、最後にシステム全体の動作確認を行います(図2)。

IoTシステムのアプリケーション

● 端末側の開発・設定が不要なWebアプリが主流

IoTシステムは、その名の通りインターネットを利用したシステムです。世界規模の広域ネットワークであるインターネットに接続することで、システムのサービス・エリアをより広い範囲に広げられることが特徴です。

インターネットには、IoTエッジ・デバイスはもと